

九州広域地域産業活性化基本計画の概要

地域の特徴

- 日本列島の南西部に位置し、九州島と周辺の島々からなり、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の7県で構成。
- 各県庁所在地都市を中心に、2政令市と人口20万を超える比較的規模の大きい地方都市が適度に分散。
- 域内総生産は全国の9.3%を占める52.9兆円(19FY)。主要経済指標も全国の1割前後。
- シリコンアイランド九州として、情報産業の集積地として、発展。情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業等ソフトウェア産業においても確実に進展中。

1. 集積区域 九州全域の188市町村

2. 集積業種 半導体・エレクトロニクス関連産業 IT関連産業

3. 成果目標

付加価値額	33,969億円(5%の伸び)
新規事業件数	380件
製品出荷額の増加額	6,287億円
新規雇用創出件数	17,921人

4. 目標に向けた事業環境整備等

[半導体・エレクトロニクス関連産業]

- ・研究開発施設利用率向上事業
- ・企業の組織強化事業(スキルアップ等支援事業)
- ・九州版技術ロードマップ作成事業
- ・研究開発支援事業
- ・最先端ビジネス・技術開発動向普及促進事業
- ・ビジネスマッチング機能強化事業
- ・海外展開支援事業
- ・中小企業の企画から商品化までのマーケティング支援事業
- ・国内外投資促進の普及啓発及び情報収集等研究事業

[IT関連産業]

- ・経営基盤高度化促進事業
- ・最先端技術習得・ビジネス創出事業
- ・IT利活用研究開発・実証事業
- ・IT社会基盤集積促進事業
- ・ビジネスマッチング強化事業
- ・新事業構築検討事業

基本計画のポイント

- 九州全県が一体となって、半導体・エレクトロニクス産業による「革新的ものづくりアイランド」の実現を目指す。
 - ①各地に所在する研究開発拠点の連携・強化による「ものづくり一大研究拠点」の形成
 - ②国内外のマーケティングを踏まえたビジネスチャンスの発見と事業ターゲットの想定
 - ③グローバル競争に適應できる人材育成と国内外からの投資の促進
- 「環境・エネルギー」、「医療」、「農業」、「観光」の4つの産業をITにより活性化または高次化に結び付けた強化を目指す。
 - ①IT利活用による九州地域内産業の活性化/高次化
 - ②九州地域内のIT産業(組込みソフトウェア含む)の振興
 - ③ITを利活用した新規事業及び新規ビジネスモデルの創出

5. 九州広域地域産業活性化協議会の構成員(7県、188市町村と産業支援機関等)

(財)九州地域産業活性化センター(KIAC)

(財)福岡県産業科学技術振興財団(IST)、(財)九州先端科学技術研究所(ISIT)、財団法人九州ヒューマンメディア創造センター、(財)北九州産業学術推進機構(FAIS)、(株)ネットワーク応用技術研究所、NPO九州組込みソフトウェアコンソーシアム(QUEST)、(株)熊本ソフトウェア(KSK)、一般社団法人熊本県工業連合会、(財)くまもとテクノ産業財団、(財)ハイパーネットワーク社会研究所、(財)大分県産業創造機構、社団法人宮崎県工業会、財団法人宮崎県産業支援財団、株式会社宮崎県ソフトウェアセンター、(財)かごしま産業支援センター、(社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島県商工会連合会、(株)鹿児島TLO、(株)鹿児島頭脳センター、奄美情報通信協同組合

